

小学校

5・6年生

家庭学習の  
ポイント

### ポイント①

めあて

予定を立て、自分の力で学習を進める

学習時間のめやす

50分～70分

#### 規則正しい生活の再確認と見直しを！

時間を意識させ、けじめをつけさせることは、自立心や学習への集中力を高めることにつながっていきます。特に、テレビやゲームなどの時間を家族で話し合いながら決めて、自分で守るようにさせていくことが大切です。

### ポイント②

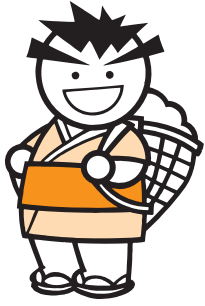
#### 予定を立て、計画的な学習を！

高学年になると、学校でのいろいろな役割、塾やスポーツクラブ等の習い事で、放課後の時間が予定でいっぱいになることがあります。その日の予定をきちんと立て、時間を決め、計画的に学習することが大切です。

### ポイント③

#### 目標に向かって努力を！

将来の夢や希望をもつことは、とても素晴らしいことです。学校生活でのさまざまなできごと(うれしかったこと、がんばったこと、くやしかったことなど)を家庭で話し合い、目標に向かって努力することの大切さについて考えてみましょう。



# 家庭学習の内容や方法

小学校  
5・6年

学習時間のめやす  
50分～70分

## 宿題

- 「読む」「書く」「計算」の学習は、しっかり身に付くように、何度もくり返して練習しましょう。
- 時間や内容を確認めて、計画的に取り組みましょう。

## 自主学習

- 学校で学んだことを生かし、自分で課題を見つけて、追究する学習にも進んで挑戦してみましょう。
- いろいろなジャンルの本を読み、読書の習慣を身に付けましょう。

## 国語

- 話の内容や登場人物の気持ちなどが分かるように、声の大きさや読む速さなどを工夫して音読しましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
- 漢字の練習は、字の構成（へんやつくりなど）や字形を意識して、ていねいに練習しましょう。それが終わったら、その漢字が使われている熟語を調べたり、作文作りをしたりしてみましょう。
- 教科書や新聞の記事など、字数を決めて、ていねいに視写してみましょう。
- 1日の生活を振り返り、心に残ったことや楽しかったことを日記に書いてみましょう。

## 算数

- 計算プリント、計算ドリルを使って、くり返し練習しましょう。
- 自分で答え合わせをし、まちがった問題はもう一度チャレンジしましょう。



## その他の教科にもチャレンジ

- 社会や理科など、自分から進んで調べて学習し、知識を増やし、物知りになりましょう。
- 国語辞典をはじめ、いろいろな辞典（事典）や資料集をどんどん活用しましょう。
- いろいろなジャンルの本をたくさん読んでみましょう。
- 家庭科で習ったことを、実際の生活の中で実践し、役立てていきましょう。

# 中学校

## 1・2年生

### 家庭学習の ポイント

#### ポイント①

### めあて

自分なりの学習方法を見つけ、長期的な計画を立てて勉強する

学習時間のめやす

90分～120分

#### 毎日の予習・復習を定着させる！

小学校に比べると授業の内容が難しくなり、進み方もはやくなります。また、部活動で忙しくなり、体力的にもきつくなってきます。しかし、ここが踏ん張りどころです。宿題はもちろん、授業の予習や復習をするかしないかで理解度に大きな差がつかます。時間の使い方を工夫し、毎日の家庭学習を定着させることが大切です。

#### ポイント②

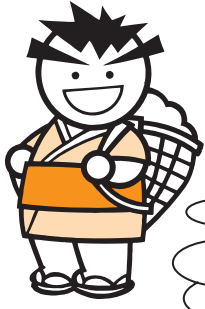
#### 授業の理解が基本！

中学生になると、「受験勉強」が大変だというイメージがあると思います。しかし、受験勉強とは特別な勉強ではありません。中学校の授業で学習した内容を復習することです。授業で習ったことをしっかり理解できていればそれほど大きな負担は感じません。そのためには、準備を整えて（予習して）授業に臨み、授業をしっかりと聞き、授業で勉強したことを家で繰り返す（復習する）ことが重要です。授業で配布されたプリントや板書用のノートには学習の重要なポイントが整理されています。有効に使うことが理解度を深めることにつながります。また、定期考査や実力テストをまとめると3年生で役立つ「問題集」になります。繰り返して問題を解き、なくさないように保管しておく受験勉強にも役立ちます。

#### ポイント③

#### 自分なりの学習方法を身に付ける！

学習の基本は予習や復習ですが、それだけでは不十分です。人によって苦手な教科（あるいは分野）があると思います。たとえば「小学校3年の漢字から分からなくなった」とか、「分数の計算をよく間違えてしまう」など、分からないままでは中学の学習を理解するのが難しくなります。テストの結果などから自分の力を分析して苦手教科の分からなくなったところに戻ってやり直すことが必要です。毎日の予習・復習のほかに、自分の力を伸ばすための学習時間を確保し、ドリルや問題集を活用したり、ノートづくりを工夫したりすることが大切です。自分なりの学習方法を見つけ、毎日続けることが学力アップにつながります。



# 家庭学習の内容や方法

中学校  
1・2年

学習時間のめやす  
90分～120分

積み重ねの学習がみなさんの力をどんどん伸ばします。授業と授業をつなぐのは、家庭学習です。ここに書いてあることを参考にしてみましょう。

## 国語

### 【予習・復習】

- 教科書をつまみかきのように読めるように、繰り返し声に出して読みましょう。
- 意味がはっきりと分からない語句は国語辞典で調べましょう。
- 新出漢字はもちろん、学習済みの漢字でも、書く自信のない漢字は完全に覚えるまで練習しましょう。
- ワークや問題集を活用して、授業内容を復習しましょう。

### 【自主学习】

- 国語辞典や漢和辞典を使って、漢字力と語彙力の向上をめざしましょう。
- 新聞（コラムや読者投稿らん等）や読書など、活字を読む習慣をつけましょう。

## 社会

### 【予習】

- 教科書を読み（次の時間に学習する範囲）、太字、難しい語句や分からない語句をチェックしましょう。

### 【復習】

- 教科書とノートを見比べて、学習した内容を振り返りましょう。
- 学習した範囲のワークや問題に取り組み、繰り返し解いてみましょう。
- テスト勉強は、地図帳や年表を使って、地名や年代を確認しながら取り組みましょう。

## 数学

### 【疑問の解決】

- もう一度、自分の抱いた疑問に向き合い、考えてみましょう。
- 教科書をじっくり読み直し、ノートを見直しながら授業の時の説明を思い出し、時間をかけて取り組みましょう。
- 次の授業までに、その疑問を解決するように努力しましょう。

### 【定着のための反復練習】

- 授業で扱った問題だけでなく、問題集などでも類題を探して、より多くの問題を繰り返し解きましょう。
- 宿題として反復練習をすすめられている場合は、確実にできるように、たくさん問題に取り組みましょう。
- 間違えた問題は、解き直しを確実にやり、チェックを入れておくと、間違いを繰り返すことは少なくなります。

## 理科

- 大切な語句や図は、何度も書いて覚えましょう。
- 問題集は一度解いて終わりにしないで、間違えた問題を繰り返し解いてみましょう。
- 授業で習ったことを、自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- 毎日の生活の中から、『なぜ？』を見つけ、授業の中で解決してみましょう。なお、解決できない時は、積極的に先生に聞いてみましょう。

## 英語

- 声を出して、教科書を何度も読みましょう。
- 基本文を暗唱したり、単語を見ないで言ったりできるように練習しましょう。
- 語学の学習に必要なことは、何といたっても“継続”です。
- いろいろな問題を繰り返し解きましょう。

### めあて

進路に向けて目標を明確にして取り組む

#### 家庭学習の ポイント

学習時間のめやす

120分～180分

#### ポイント①

##### 自分の夢や目標を達成するために！

全県1学区になりました。高校の選択肢が多くなり、進学目的や高校卒業後はどうするかを考えることが一層大事になりました。オープンスクールや先輩方の情報をもとに、進路目標を立てさせてください。現在の自分の力で不足していることや、努力すべき点を明確にして、受験勉強に取り組むことが大切です。

#### ポイント②

##### 1・2年の学習を基本に受験勉強に取り組もう！

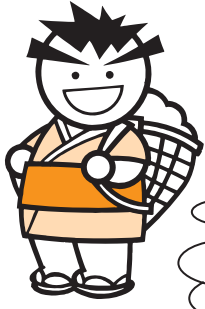
1・2年の復習＝受験勉強です。1・2年で学習したことを計画的に復習する必要があります。また、3年生では毎時間の勉強が受験勉強に直結します。「予習して臨む」「教師の説明をしっかりと聞く」「ノートのとり方を工夫する」ことがポイントです。黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、先生の説明を聞きながら要点を書き加え、家に帰ってからノートと教科書を見比べて復習すると理解度が深まります。

#### ポイント③

##### 時間の使い方を工夫しよう！

平日は2時間以上の勉強が必要です。さらに休日は午前、午後（夜）の時間を有効に使い、3時間を目安に計画的に学習することが大切です。

苦手教科は授業で使っているワークや自分の持っている問題集を繰り返し解いて、重要な問題はノートに写して何度も解くことが学力アップにつながります。



# 家庭学習の内容や方法

中学校  
3年

学習時間のめやす  
120分～180分

予習・復習については、1・2年生の方法を土台にして、ここに書いてあることにも取り組んでみましょう。

## 国語

- 漢字の練習は、部首（意符・音符）を意識して行いましょう。
- 古典では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようにしましょう。
- ワークや問題集で、長文問題にたくさん取り組みましょう。

## 社会

- 授業中はしっかりノートを取り、家で先生の説明や教科書の説明をつけ加えましょう。
- ワークや自分の持っている問題集の記述問題や資料活用問題は必ず行いましょう。
- テレビや新聞のニュースをチェックして、感想をノートにメモしましょう。

## 数学

- 四則計算の練習問題を行い、どんどん計算力をつけましょう。
- 因数分解や解の公式、体積・面積などの図形の公式は練習問題などで、繰り返し使って覚えましょう。
- 自分で見つけた問題や分からなかった問題は、ノートに写し、自分の学習ノートを作りましょう。

## 理科

- 1・2年で学習した理科の重要語をノートにまとめましょう。
- 1・2年で行った実験や観察についてのグラフや資料、注意事項を見直し、大事なところ（ポイント）をノートに整理しましょう。

## 英語

- 授業で学習した新出語句や基本文は必ず覚えるようにしましょう。
- ワークや問題集で長文問題にたくさん取り組みましょう。
- 教科書やワークにある自由英作文は必ず行いましょう。
- 教科書を読み（次の時間に学習する範囲）、太字、難しい語句や分からない語句をチェックしましょう。



## あ と が き

最近、「学習への意欲が低下している」、「人とのかかわりが苦手である」、「体力が低下している」など、子どもたちの様々な問題が指摘されています。

今こそ学校と家庭が協力して、子どもたちに健康な心と体を育て、「確かな学力」を身に付けるようにしなければならないと考えます。

家庭学習の習慣化を図るには、「早寝早起きをする」、「あいさつをする」、「運動をする」、「食事をしっかりとる」、「家事を手伝う」、「テレビ、ゲーム漬けにならない」などの基本的な生活習慣の確立と躰が大切であり、まず家庭で取り組まなければならないことが、いくつかあると考えています。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは家族との温かいかかわりや体験を通して、多くのことを学び、たくましく成長していきます。

この「家庭学習の手引き」を保護者と子どもと一緒に読み合い、家庭での学習の在り方を見直したり、親の方にとっては、子どもへの学習のさせ方、接し方などについて参考書として活用していただければと願っています。

編集に当たっては、できるだけ読みやすいようにポイントになる事柄をしばって、学年部ごと見開きで作成しました。そして教科の学習に焦点を当て、家庭で子どもたちが、自分の力で目標をもって学習を進めていけるように大切なことや具体的なアドバイスなどを集めてみました。

ご家庭の皆様には、ぜひ本手引き作成の趣旨をご理解いただきますとともに、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭学習が一層充実するように、この冊子をご活用いただければ幸いです。

### 「家庭学習の手引き」編集委員

(学校名は作成当時です)

担当校長	黒田 謙二	(大和町立落合小学校)
教 諭	石田 雄一	(大和町立吉岡小学校)
教 諭	鈴木 護	(大和町立宮床小学校)
教 諭	杉田 繁	(大和町立宮床小学校難波分校)
教 諭	渡邊 正徳	(大和町立吉田小学校)
教 諭	吉岡 久	(大和町立鶴巣小学校)
教 諭	刈村 祐司	(大和町立落合小学校)
教 諭	池田 博樹	(大和町立小野小学校)
教 諭	山口 孝彦	(大和町立大和中学校)
教 諭	高橋 正充	(大和町立宮床中学校)
参 事	鈴木 一史	(大和町教育委員会)

# 家庭学習の手引き

平成 25 年 2 月

大和町教育委員会





### 家庭学習3つのポイント

- ① テレビを消して，学習に集中！
- ② きれいな机の上で！
- ③ よい姿勢で！